

L83 ANSWER 25 OF 25 HCAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS
AN 1967:1843 HCAPLUS
DN 66:1843
TI Aromatic products as deodorants for **insecticides** and repellents
AU Kamorzina, I. G.; Karpov, G. A.; Knyazeva, K. S.
SO Khim. Sel'sk. Khoz. (1966), 4(7), 499-501
CODEN: KSKZAN
DT Journal
LA Russian
CC 19 (Pesticides)
AB Most **insecticides** and **insect** repellents have disagreeable odors. The authors studied a large no. of aromatic products in regard to their deodorizing effect on the active ingredients and solvents. Since the insecticidal and repellent properties of each product must be enhanced and not depressed, each material was tested for effect on **fleas**, **cockroaches**, and **mosquitoes**. In the work with **fleas** and **cockroaches**, the coeff. of repellency was detd. by the use of insecticide-impregnated calico strips. In the work with **mosquitoes** it was based on timing the incidence of 3 successive mosquito bites on the forearm of individuals. Over 50 products were tested, some of them in different concn. The products were sep'd. into 3 groups: attractants, indifferent, and repellents. This classification varied with each type of **insect**, since they reacted differently.
ST DEODORANTS PESTICIDES; INSECTICIDES DEODORANTS;
PESTICIDES DEODORANTS; REPELLENTS DEODORANTS
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(anise, **insect** response to)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(apricot, **insect** response to)
IT **Insect** repellents
(aromatic compds. as)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(cherry, **insect** response to)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(coriander, **insect** response to)
IT **Insecticides**
(deodorizers for, aromatic compds. as)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(eucalyptus, **insect** response to)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(fir, **insect** response to)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(lavender, **insect** response to)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(mandarin, **insect** response to)
IT **Soaps**
RL: BIOL (Biological study)
(odorous, **insect** response to)
IT Oils
RL: BIOL (Biological study)
(orange, **insect** response to)

Ph-CH=CH-CHO

L83 ANSWER 20 OF 25 HCAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS
 AN 1984:412008 HCAPLUS
 DN 101:12008
 TI Nonirritating cosmetics
 PA Sunstar, Inc., Japan
 SO Jpn. Tokkyo Koho, 4 pp.
 CODEN: JAXXAD
 DT Patent
 LA Japanese
 IC A61K007-00; A61K007-16; C11D003-20; C11D009-26
 CC 62-1 (Essential Oils and Cosmetics)
 FAN.CNT 1

	PATENT NO.	KIND	DATE	APPLICATION NO.	DATE
PI	JP 59010323	B4	19840308	JP 1975-44504	19750411 <--
AB	The addn. of 0.05% cyclodextrin [12619-70-4] to perfume-contg. cosmetics prevents the toxic side effects of odorous compds. Thus, a shampoo comprises Na lauryl sulfate 6, lauryl ether sulfate 6, coconut oil fatty acids diethanolamide 5, a perfume contg., for example, cinnamaldehyde [104-55-2] 0.5, .beta.-cyclodextrin [7585-39-9] 1, H2O 81, preservative and bactericide 0.5% by wt. .beta.-Cyclodextrin was dissolved in H2O, then mixed with perfume. The decrease of irritation was demonstrated in rabbits receiving this shampoo in their eyes.				
ST	cyclodextrin cosmetic skin eye				
IT	Eye, toxic chemical and physical damage (cosmetic toxicity to, cyclodextrin control of)				
IT	Cosmetics Dentifrices Odor and Odorous substances Perfumes and Essences				
	Shampoos Soaps RL: BIOL (Biological study) (skin irritation by, cyclodextrin prevention of)				
IT	7585-39-9 12619-70-4 RL: BIOL (Biological study) (cosmetics contg., in skin irritation prevention)				
IT	104-55-2 RL: BIOL (Biological study) (cosmetics contg., skin irritation from, cyclodextrin prevention of)				
IT	104-55-2 RL: BIOL (Biological study) (cosmetics contg., skin irritation from, cyclodextrin prevention of)				
RN	104-55-2 HCAPLUS				
CN	2-Propenal, 3-phenyl- (9CI) (CA INDEX NAME)				

Ph-CH=CH-CHO

L83 ANSWER 21 OF 25 HCAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS
 AN 1982:599874 HCAPLUS
 DN 97:199874
 TI Fragrant enzyme-containing detergent compositions
 PA Lion Corp., Japan
 SO Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 6 pp.

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59-10323

⑬ Int. Cl.³
B 01 D 46/44

識別記号

厅内整理番号
7636-4D

⑭ 公開 昭和59年(1984)1月19日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ 集塵装置

⑯ 特 願 昭57-120287

⑰ 出 願 昭57(1982)7月9日

⑱ 発明者 山田善市

岡崎市美合町字力石75番地

⑲ 出願人 新東ダストコレクタ株式会社

名古屋市中村区名駅四丁目7番

23号豊田ビル内

⑳ 代理人 弁理士 名嶋明郎 外1名

明細書

1. 発明の名称 集塵装置

2. 特許請求の範囲

集塵機本体に接続される含塵ガス吸引用のファンの吸引側もしくは排気側のダクト内に毎分4回以上の周期で開閉されるダンバを設けたことを特徴とする集塵装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明はファン駆動用モータの消費動力を低減させた集塵装置に関するものである。

集塵装置には含塵ガス吸引用のファンが付設されているが、従来の集塵装置においてはファンを駆動するモータが常時一定の回転数で運転されて一定風量を一定圧力で吸引しているためにその消費動力も一定で、省エネルギーの観点から無駄の多いものであった。このため最近では集塵装置のファン駆動用モータの消費動力低減の試みとして、例えば、含塵ガス吸引用のファンの吸引側ダクトに制御ダンバを取付けて発塵量の少いときにはこの制御ダンバを閉じて吸引風量を絞ることにより

ファン駆動用モータの負荷を減少させたものや、インバータ等によりファン駆動用モータの回転数を発塵量に応じて変化させるようにしたもの等が用いられている。ところが、これらはいずれも発塵量の大幅な変化を前提として吸引風量を制御しようとするものであるため、鋳造工場の砂処理ラインのように常時一定風量を吸引する必要がある場所で用いられる集塵装置ではその機能を発揮することができない欠点があつた。

本発明は前記のようを欠点をなくして常時一定風量を吸引することが要求される場合においても、そのファン駆動用モータの消費動力を低減させることができる集塵装置を目的として完成されたものであつて、以下、本発明を図示の実施例について詳細に説明する。

図中(1)は集塵機本体であつて、該集塵機本体(1)は発塵源(2)の上方に設置されたフード(3)にダクト(4)を介し接続されて含塵ガスを吸引し、捕集された粉塵は下端に設けられた排出装置(5)から排出できるようになっている。(6)は集塵機本体(1)に接続

される含塵ガス吸引用のファンであつて、図示を略したファン駆動用モータによつて定速運転されて集塵後の空気を排気するとともにフード(3)に吸引力を発生させるためのものであり、このファン(6)の吸引側の集塵機本体(1)とファン(6)とを結ぶダクト(7)内にはダンパ(8)が設けられており、該ダンパ(8)は原動機(9)により毎分4回以上の周期で回転されてダクト(7)内の流路を開閉する。

このように構成されたものは、ファン駆動用モータによつて含塵ガス吸引用のファン(6)を定速回転させながら原動機(9)によりダンパ(8)を毎分4回転以上の周期で回転させれば、ファン(6)を通過する空気流量はダンパ(8)の回転と同一周期で増減することとなるが、ファン(6)の消費動力はファンを通過する空気流量に比例するものであるから、ファン駆動用モータの消費電流値は第2図のグラフに示されるように時間とともに増減し、ダンパ(8)を毎分60回転の周期で回転させた場合で、ダンパを設けない従来の集塵装置と比較して電力値に換算して約25%ほど消費動力の低減となる。さ

(3)

うなバタフライバルブ以外でも回転式或いは往復式その他任意の形式のものを採用することができる。

本発明は前記実施例による説明から明らかをようするに、含塵ガス吸引用のファンの吸引側もしくは排気側のダクト内に毎分4回以上の周期で開閉されるダンパを設けたので、ダンパの開閉に対応してファンの吸引風量は周期的に変化し、これに応じてファンの消費動力も周期的に増減することとなり、常時一定風量を吸引していた従来のものと比較してファンの消費動力を大幅に減少させることができる。しかも、ダンパは毎分4回以上の周期で開閉されるので、ごく短い時間を取りれば吸引風量の大軒な変動があつても巨視的に見れば吸引風量は一定であり、鉄造工場の砂処理ライン等においても有効に用いることができ、さらに、ダンパの開閉による吸引圧力の変動が粉塵の払い落し効果を生ずるので、滤布圧力損失を低下させることができて吸引風量の減少にもかかわらず集塵効果は従来と同等に保つことができる等種々の利点

らに、ファン(6)を通過する空気流量が従来と比較して減少することとなるにも拘らず、ダンパ(8)によつて空気流量に周期的变化が与えられるため、集塵機本体(1)の内部においては滤布に捕集された粉塵が吸引圧力の変動による払い落し効果を受けて滤布表面からよく落下して滤布圧力損失は約15%低下し、吸引される空気流量の減少にもかかわらず集塵効果はダンパのない従来の集塵装置と変わることはない。なお、前記の実施例ではファン(6)の吸引側のダクト(7)内にダンパ(8)を設けたが、排気側のダクト内にダンパを設けても同じ効果を得ることができ、また、ダンパ(8)の開閉周期は適当に変化させることができると、毎分4回未満の周期では吸引風量の変化が顕著になつて常時一定風量を吸引することができなくなるうえに吸引圧力の時間当たりの変動量が小さくなるため滤布表面における粉塵の払い落し効果も期待できなくなり、このためダンパ(8)の開閉周期は毎分4回以上とし、一般的には毎分10~100回の周期で開閉するのが好ましく、さらに、ダンパ(8)は図示のよ

(4)

があり、集塵能力を低下させることなくファンの消費動力を減少できる集塵装置として業界にもたらすところ極めて大なものである。

4. 図面の簡単な説明

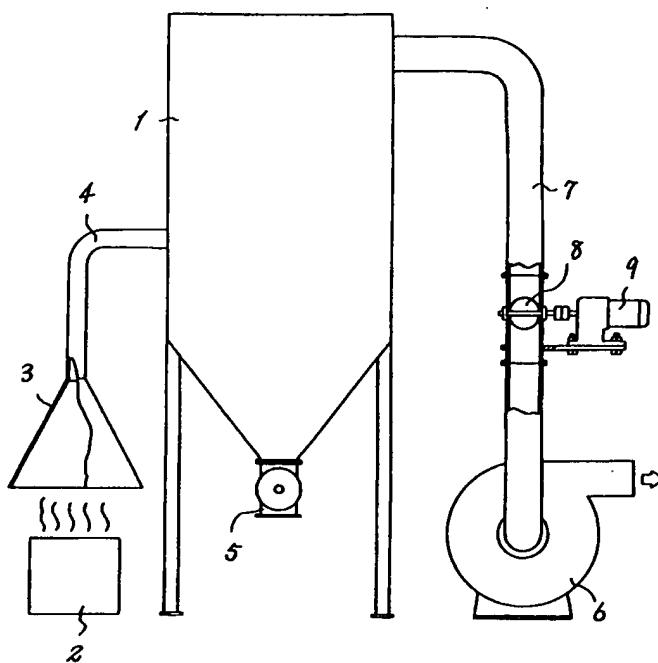
第1図は本発明の実施例を示す一部切欠正面図、第2図は本発明におけるファン駆動用モータの消費電流の時間的变化を示すグラフである。

(1)：集塵機本体、(6)：含塵ガス吸引用のファン、(7)：ダクト、(8)：ダンパ。

特許出願人 新東ダストコレクタ株式会社
代理人 名船明郎
同 緑賀達雄



第 1 図



第 2 図

